



雪の結晶\*4歳児

立春とは名ばかりの寒さが続いています。2月も半ばを過ぎ、卒園・進級を意識して生活する子どもたちです。密かにお別れ会を計画する4歳児。それを手伝う3歳児。思い出に何かプレゼントを用意する5歳児。もも組へ遊びに行くことを楽しみにする2歳児。0.1歳児もすくすく成長しています。

日々ハートフル！

箱根町は、日常の保育の中で子どもたちに自己肯定感や自尊心が高まるような関わりを行っているところです。レッスンとして人とのかわり方や友達の気持ちの読み取り方、困ったときの対処の仕方などスキルを学ぶこともあります。職員はレッスンの要素や考え方を保育に生かし子どもと関わっています。3歳児も集まりの中で自然とサークル対話ができています！自分の思いやクイズなどを自分なりの言葉で話しています。前に出て言うことも特別感があり嬉しいようです。

この時期の子どもは、日々の生活や遊びの中で心を豊かにしながら育っています。



卒園制作を作りました！

陶芸家・黒川淳先生にご指導いただき、陶芸のプレートを作りました。作り方を真剣に聞く子どもたち！粘土の感触を味わい、微妙な色の違いに注意を払い、集中して取り組んでいました。下絵に粘土をのせていく過程を楽しみながら、様々な型を使ってアレンジも加え、一人一人が出来栄えに満足していました。最後にオカリナの音色に感動しました。

現在、乾燥しています。

窯に入れる時は、工房に行き見せていただけることになっています。地域の方の教育力を生かし、子どもたちに貴重な経験をさせていただけることに感謝いたします。



箱根湿生花園

地元との連携を深めたい！地元根付いた箱根町立箱根湿生花園でありたい！ということで、仙石原幼児学園の園児も気軽に遊びに来てくださいとお誘いを受けました。

季節ごとに散歩に行くことはもちろん、種まきを手伝っていただいたり、植物を園に持ってきて鑑賞させてくださったりなど様々なイベントも柔軟に対応してくださるそうです。これから相談しながら計画していきたいと思えます。ご家庭でも行かれてみてはいかがでしょうか。



節分

1月中旬から豆まきに向けて、鬼のお面や三方を作ったり、鬼の的あてで遊んだり、絵本や紙芝居



居を読んでもらったり、節分を楽しみにしていた子どもたちです。前日・当日になると現実味を帯びてきたのか、「怖い」「鬼来る？」と不安がる子どももいました。また、赤鬼・青鬼が現れると先生の後ろに隠れる子どももいましたが、果敢に豆をまき、自分の中にいる弱虫鬼やおこりんぼ鬼などを退治していました。怖がっていた子どもも最後は「楽しかった！」

と日本の伝統行事を楽しんでいました。赤鬼青鬼さん幼小連携でした！

ありがとうございました(\*^▽^\*)



\*銀世界\*

2/10と2/14に雪が降り、一面銀世界となりました。連日、雪だるまやかまくらを作ったり、雪合戦をしたり、ままごとをしたりと大喜びの子どもたちです。

10日の雪はパウダースノーで雪玉を作るのに大変でした。それもよい経験であり、雪といってもいろいろな性質があることを知りました。雪が降ると子どもはわくわく！大人はドキドキ！ですが、雪かきは何のその！子どもたちの笑顔が見られる嬉しさを感じる仙幼の職員です

